

日野市

国分寺市

小金井市

問合せ先：浅川清流環境組合 (☎042-589-0555)

浅川清流環境組合（日野市・国分寺市・小金井市で構成）が実施している「新可燃ごみ処理施設整備事業」に係る環境影響評価の進捗状況のお知らせ

◆環境影響評価書案を作成

環境影響評価調査計画書（平成26年8月作成）に基づき調査・予測・評価を行い、平成27年11月に環境影響評価書案を作成しました。調査した項目および評価の概要は次のとおりです。

調査項目

- ①大気汚染 ②悪臭 ③騒音・振動 ④水質汚濁
- ⑤土壌汚染 ⑥地盤 ⑦水循環 ⑧生物・生態系
- ⑨日影 ⑩電波障害 ⑪景観 ⑫自然との触れ合い活動の場 ⑬廃棄物 ⑭温室効果ガス

評価の概要

「騒音・振動」に関しては「現況とほぼ同程度」、それ以外の項目に関しては、「環境基準値を下回る」、「著しい変化はない」、「影響が及ぶことはない」、「影響の程度は小さい」というものでした。

◆住民説明会を開催

平成27年12月7日～平成28年1月12日、評価書案の縦覧・閲覧期間を設け、評価書案の内容に関する住民説明会も併せて開催しました。日野市内で4回、国立市、多摩市、府中市で各1回、計7回の開催で、延べ75名の方々が出席されました。

なお、説明会でいただいた環境影響評価に対する代表的な質問を紹介します。

Q 新可燃ごみ処理施設稼働後の大気汚染物質濃度について、予測結果を算出する際の条件、過程を教えてください。

A 新可燃ごみ処理施設の自主規制値の濃度、排ガスの温度、排ガスの排出速度、建設予定地における1年間の気象観測結果を用い、365日24時間の拡散計算を行っています。その結果を用いて、地上付近に大気汚染物質が降下した際の濃度を算出し、その結果と現地調査において測定された大気汚染物質の濃度を足し合わせて最終的な予測結果としています。

Q 国道20号バイパスの観測地点では騒音レベルが現況で既に環境基準値を上回っているが、どのようにして良好な環境を守っていかようとしているのか。

A この地点では従来から走行している車両等の影響により騒音レベルが環境基準値を上回っています。新施設への搬入車両による影響はほとんどなく、「現況とほぼ同程度」という評価となりました。しかし、組合としては低公害車の導入を日野市、国分寺市、小金井市に要請し、運転者へのマナーアップ（アクセルをゆっくり踏み込むことを推奨するなど）の徹底をしていくことで、影響をゼロに近づけるようにしていきます。

今後の予定

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
環境影響評価		●見解書の作成・縦覧 ●評価書の作成・縦覧			事後調査	
事業者選定		●事業者決定				
施設設計						
施設建設工事						
施設試運転						
施設本格稼働						

日野市プラスチック類資源化施設整備事業

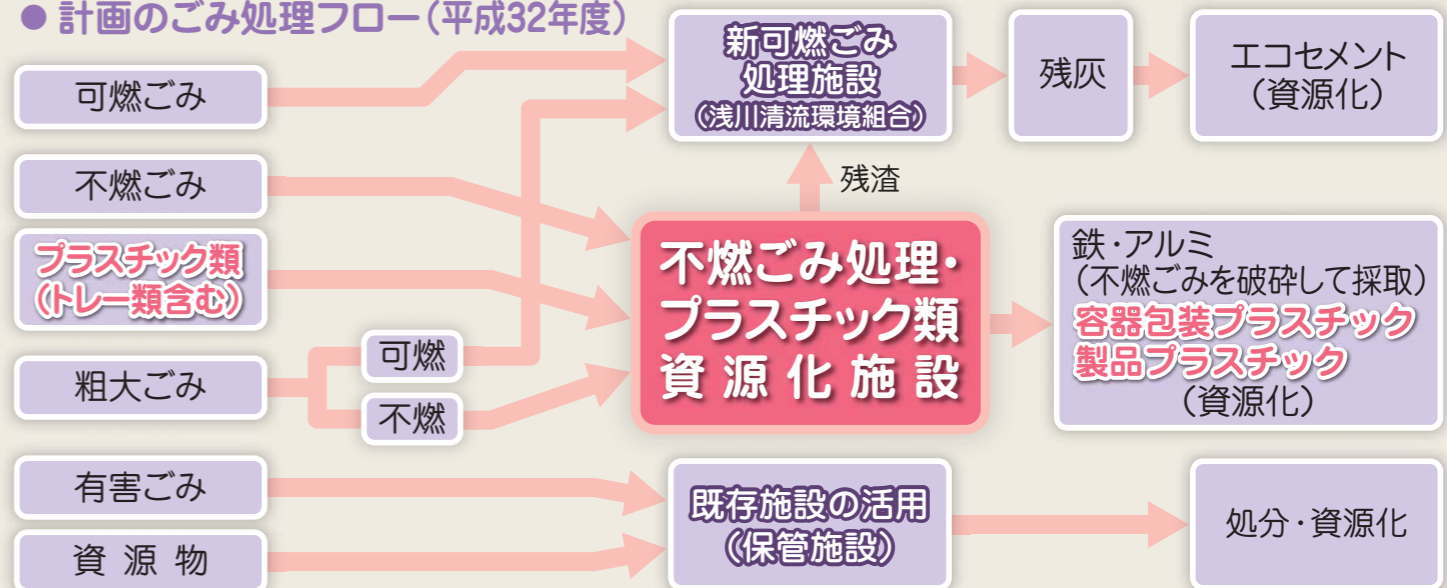
ごみ処理施設建設基本設計に基づき、更なるごみの減量と資源化の推進を図るため、新可燃ごみ処理施設稼働（平成32年度予定）に合わせてプラスチック類資源化施設を整備します。

プラスチック類資源化施設では、容器包装プラスチック・製品プラスチックの資源化と不燃ごみの処理を実施する予定ですが、今後、分別方法や処理方法などの詳細を検討し、市民説明会等でお知らせしていく予定です。

主なプラスチック類



●計画のごみ処理フロー（平成32年度）



●プラスチック類資源化施設整備に向けた今後のスケジュール(案)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
土壌調査						
事業者選定準備						
事業者選定						
設計・建設						
試運転						
供用開始						

↑ プラスチック分別開始予定